

2009年比良山沢登合宿 報告書

[目的] 武奈ヶ岳登山及び、比良山系の沢を登る

[日程] 2009年7月11日～12日(雨天中止)

[場所] 滋賀県大津市比良山地

[集合] JR 京都駅中央改札前に朝7時

[メンバー]

川原将司(CL)

柿原精太

千葉弘貴

梅村智巳(記録)

OB2名(計6名)

[装備]

・団体装備

6テンセットグランドシートペグハンマー鍋フライパンガスヘッド×2

ガス缶×2調理用具食料品救急用品

・個人装備

メインザックサブザックザックカバー雨具シュラフ断熱マットコップフェル

箸等昼食行動食非常食飲料水 2ℓ程度ヘッドライト呼び笛時計帽子

コンパスナイフ予備電池靴紐タオル着替え防寒着ライターロールペーパー

沢登り用の靴新聞紙ゴミ袋保険証(コピー可)米2合虫よけ団装用水 1ℓ

[食糧計画]

	朝	昼	晩
1日目	食べてくること！	各自！	麻婆豆腐+ご飯+和え物+お吸い物
2日目	炊き込みご飯+お吸い物	スパゲティ+お吸い物	どこかに食べに行きましょう！

・1日目

麻婆豆腐の素、野菜、鯖缶、ご飯、お吸い物

・2日目

炊き込みご飯の素、ご飯、お吸い物

スパゲティソース、パスタ、お吸い物

[行程]

・1日目 八雲ヶ原で幕営、武奈ヶ岳登山

8:10 比良駅集合、タクシーを呼ぶ

8:50 登山口着、装備分け、天候的にはスポーツ日和(曇り)

9:15 出発

9:52 ノタノホリ着

10:44 堂満岳前小ピーク、小休止

～堂満岳まで急登が続く、初日のピーク～

11:40 堂満岳山頂着、昼休憩、頂上ガス、展望悪し
12:40 金糞着、少し下った所にある沢で休憩し水補給
13:30 八雲ヶ原着、休憩、テント設置
15:00 武奈ヶ岳へ出発
16:00 武奈ヶ岳山頂着、休憩
16:52 出発
17:25 八雲ヶ原着、夕食(麻婆豆腐+和え物+ご飯+味噌汁)
～翌日の打ち合わせ、天候次第では沢登(サブ行動)の決行を断念することに～
19:00 就寝

・2日目 沢登り、テント回収して下山

5:00 起床、朝食(炊き込みご飯+味噌汁)
～天候悪し(かなり微妙な小雨あり)、降雨の虞・気温が低いため沢登りを断念し予定変更～
7:00 出発、テント回収しガリバー村へ向かい、バスにて JR 近江高島駅へ行くことに
7:37 沢登のゴール地点着
7:55 沢下り開始、足場が悪いため気をつけるように促す
～途中の鎖場にて別の登山パーティーと合流、道を譲るために 20 分程その場で待機、判断ミスか・・・～
11:00 大摺鉢着、小休止、天候が完全に良くなる
11:46 ガリバー村着、下山完了、バスの待ち時間が長いためタクシーにて駅へ
15:00 京都駅にて解散

[交通機関]

行き：京都～比良間 片道 650 円
帰り：北小松～京都間 片道 650 円
近江タクシー(株) Tel:077-537-0106

[緊急連絡先]

CL 川原将司
在京連絡人 杉山智也
探検部顧問 横山茂樹
京都産業大学学生生活課(昼間) Tel:075-705-1432
京都産業大学守衛所(夜間) Tel:075-705-1421
大津警察署 [Tel:077-522-1234](tel:077-522-1234)

[備考]

2 日目は沢登りがあるので、濡れても構わない、動きやすい服を用意しておいてください。
濡れた服を収納するために、袋は多めに持っておくことを勧めます
例年通り、初日は暑さのためばててしまうかもしれません。暑さ対策はしっかりしておきましょう。
虫よけは、必須です。

[感想]

・梅村智巳(1回生)

今回の山は、とても上りやすい気候に恵まれたのが良かったと思いました。
しかし、天気予報に振り回された感じが否めませんでした。
信頼出来る天気予報を見つけるのが今後の課題だと考えます。

・柿原精太(3回生)

初日の序盤の登山は本当に辛かった。
また、初めて経験した鎖場も少しヒヤヒヤした所もあった。

しかし、その他の場所では比較的問題なくこなせた。
反省点は装備に不備があったことと途中で先頭組を見失ったこと。

・千葉弘貴(3回生)

前々からかなり厳しい登山になると聞いていて、付いていけるか心配だったが、何事もなく終える事ができ良かった。とはいっても、二日目は天候不良のため、早々と退散することになったが。どちらにせよ、自分にとっては初めてのメインザックによる登山だったため体力的にもかなりきつかった。夏山はこれよりも厳しいと聞くため、トレーニングを怠らないようにしたい。

個人的な反省点としてはサブザックを用意していなかった事と、米を炊くのを少々失敗した事である。特に後者は今後絶対にならないようにしたい。

・川原将司(3回生)

今年で3回目となる比良山沢登は、例年暑さのため疲労が溜まりダウンしてしまう人が出ている。今年も天候次第だが、途中、足を止める参加者が出るだろうと思っていたが、曇りのため気温もあまり高くならずに、スムーズに初日を終わることができた。

初日のハイライトは堂満岳だったのだが、天候が悪いため展望も悪く、山頂の昼休憩にしては少々味気ないものになった。八雲ヶ原からサブザック行動で目指す武奈ヶ岳に着いた頃には晴れ間が見え、また、比良山系で一番高い山と言うだけあり、展望は良かった。

夕食後、片付けの最中に翌日の山行予定について打ち合わせをし、事前の天気予報と初日の天候とを併せて鑑み、やはり、朝方の天候は良くないだろうと予想し、翌日もし晴れていたのであれば予定通り沢登を開始し、悪ければ、沢登のルートを下ることにした。

二日目、朝になってテントから這い出すと空一面が雲で覆われていた。食事の準備中に微妙にだが小雨を確認し、沢登の中止を決定する。しかし、下山ルートは、沢登のルートを下り、先にあるガリバー村へ向かうと言うルートを取った。このため、メインザックで沢を下ることになり、鎖場等での転倒等の危険が予想された。

しかし、沢下りは思ったよりも順調で、参加者は鎖場も難なく越せていた。今回の合宿は、例年より非常にスムーズである。途中の飛び込みポイントでの飛び込みも達成でき、当初予定していた沢登の大部分は楽しめた。

ガリバー村に着いてからは、例年通り、コーラで登山の無事終了を乾杯し、炭酸飲料の美味しさをしっかりと堪能した。合宿後は、やはりこうして楽しむのが一番だと思った。